

平成30年 10月 17日開催 JGS 宝石勉強会

《水晶の世界～天然と人工、その生い立ち～》受講感想

小川 智子

川崎先生のセミナーですので、体調を整え一言も聞きもらすまいと万全の状態で見学しました。ですが、想像以上の広く深く濃い内容に圧倒されました。

以前は日本式双晶の成長は V 字型→ハート型→軍配型と言われていましたが、 γ 線照射した日本式双晶に現れる領域などから、軍配型→ハート型→V 字型に成長



するという事がわかるなど、まだまだ双晶には未知の部分があるので今後の解明に期待したいところです。

表題にある水晶の天然と人工、その生い立ちの詳細ご講義は面白かったです。

人工水晶の柱面に現れる多角形の成長丘や、天然水晶と人工水晶の水溶液の違い(天然は中性の NaCl 水溶液だが人工はアルカリ水溶液 NaOH、Na₂CO₃)、特に人工水晶の包有物であ

るアクマイト($\text{NaFeSi}_2\text{O}_6$)とエメリュースイト($\text{Li}_2\text{Na}_4\text{Fe}_2\text{Si}_2\text{O}_{10}$)はぜひとも見てみたいと思いました。

アクマイトは天然環境では錐輝石の形態なのでしょうか？

いっぱいいっぱい質問ができませんでした

お恥ずかしいかぎりです

ご講義最後の方のテーマである「宇宙に水晶はあるか？」も非常にワクワクする内容でした。

地球の地殻に水晶が多い理由は大量の花崗岩が存在すること、その花崗岩の形成には水が不可欠なこと

花崗岩愛好者としましては、水晶の存在に花崗岩の存在があるというのは大変喜ばしいことです。



「水の存在ゆえに水晶がある」
このフレーズは心にずっと響きました
水の惑星地球の「水晶の世界」
第二段セミナーの開催を心待ちに
しております。

この度は貴重な学びの場を本当にありがとうございました